下地島空港及び周辺用地の利活用事業に関する対話結果公表

令和7年8月25日
沖縄県 土木建築部 空港課

1. サウンディング実施の背景・目的

下地島空港は、昭和54年7月に、国内唯一の民間ジェット機のパイロット訓練空港として開港しました。しかしながら、近年はシミュレータ技術の発達等の影響を受け、実機訓練ニーズが大きく減少し、利用頻度が減少していました。

そこで、沖縄県では、下地島空港の高度な空港機能と、広大な周辺公有地の有効活用を図るため、平成26年度から、民間事業者のノウハウ等に基づく利活用の促進に取り組んでおります。

これまで3期に渡り利活用事業の公募を行ってきましたが、未だ広大な事業用地が存しているため、第4期の公募を行う予定としております。そこで、第4期の公募の条件等について、幅広く民間事業者から意見をいただいた後に、公募を行い、効率的に進めていく考えであります。

広く民間事業者からの意見・提案を収集するためサウンディング調査（以下、「サウンディング」という。）を実施した。

2. サウンディングの実施スケジュール

項目	年月日
ホームページにて公告	令和7年7月10日（木）
セミナーにて説明	上記同日（セミナー案内周知日：令和7年6月16日）
サウンディングの実施	令和7年7月14日（月）～8月8日（金）
実施結果（概要）の公表	令和8年8月25日

3. サウンディングの参加者

(1) サウンディング

実施者 4社、対話回数 4回

【参加企業】	不動産業1、保険業1、金融機関1、その他1
--------	-----------------------

4. サウンディング結果の概要

対話の対象項目	対話概要
①事業イメージにおける確認事項について	該当地での事業イメージについて、概要をお伝えいただき、事業展開における課題等について確認していただいた。
②事業提案者に対する支援について	事業実施者に対する支援による参画ができるとの意見を伺い、事業のリスク評価について相談を受けることもできるとの意見をいただいた。
③県に対する支援について	多様な支援のメニューをご提示いただいた。

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、当事業に対して興味を持っていただいている企業が存していることと、事業提案者及び県に対して支援いただく事が出来ることも確認できました。

本調査に参加いただいた民間事業者の皆様にご感謝申し上げます。

今後、今回のサウンディング結果を踏まえて、必要であれば、各企業様とは対話を継続していき、公募条件の整理・検討を行い、本事業の第4期公募を行いたいと考えております。公募等に関する内容が決まりましたら、県のホームページ等でお知らせする予定です。

【問い合わせ先】

沖縄県 土木建築部 空港課

名嘉真、平木

電話：098-866-2400 e-mail：aa063002@pref.okinawa.lg.jp